

令和7年度 第7学年 技術・家庭（技術分野） 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	12	技術分野のガイダンス			・3年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。
	5		A「材料と加工の技術」 1 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み （1）身の回りの材料と加工の技術 （2）木材、金属、プラスチックの特性 （3）材料に適した加工方法 （4）丈夫な製品を作るために ＜鉛筆立ての製作＞ （5）材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性を生かした利用方法について理解している。（ワークシート、テスト） ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身につけている。（製作実習、製作品） ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動を通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。（レポート）	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方、考え方に気付くことができる。（ワークシート、テスト）	・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。（ワークシート、テスト）
	6		2 材料と加工の技術による問題解決 （1）問題を発見し、課題を設定しよう （2）製作品を構想し、設計しよう （3）製作の計画を立てよう （4）作業手順を考えて製作しよう	・製作品に必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。（ワークシート、製図）	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。（ワークシート）	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。（ワークシート、レポート）
	7					
2	9	16	<A4ラックの製作> ・材料取り（けがき作業・切断作業） ・部品加工（ヤスリがけ・釘の下穴開け） ・部品点検 ・組み立て（釘接合） ・仕上げ（塗装） （5）問題解決の評価、改善、修正	・本立ての機能や丈夫な構造を理解している。 ・部品表や工程表の基本的な知識を理解している。 ・製作を通して、工具や機械、木材の特性を理解している。（ワークシート、テスト） ・工具や機器の使い方や木材の特性を理解して、製作する技能を身に付けている。 ・工具や機械を適切に選択し、加工や組立をする技能が身に付いている。 ・安全、適切な製作や検査、修正をすることができる技能を身に付けている。（製作実習、製作品、製作レポート） ・材料と加工の技術の概念について理解している。（ワークシート、テスト）	・学習した内容を考えて、工程表を適切にまとめる力を身に付けている。 ・作業の安全を配慮して、工具や機械を適切に選択して使用できる。（製作工程表、ワークシート、製作品） ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善および修正する力を身に付けている。（ワークシート）	・他者と協働してして、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものになるように改善、修正しようとしている。（製作品）
	10		3 社会の発展と材料と加工の技術 （1）材料と加工の技術の最適化 （2）これからの材料と加工の技術		・材料と加工の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良について考えている。（ワークシート、製作レポート、テスト）	・作業評価を通して、材料と加工の技術について考えて、主体的に自己価値しようとする。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。（ワークシート、評価カード、テスト）
	11		B「生物育成の技術」 1「生活や社会を支える生物育成の技術」 （1）生物の成長などの特性、基礎的な技術の仕組み （2）技術に込められた問題解決の工夫 ＜スプラウトの栽培＞	・生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。 ・生物育成と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。（ワークシート、テスト、栽培実習） ・自然環境が生物に与える影響や知識を身につけることができる。（栽培実習レポート）	・生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決することができる。（ワークシート、栽培実習） ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取ることができる。 ・生物育成の技術の見方、考え方について気付くことができる。（栽培実習、栽培実習レポート、テスト）	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度で取り組もうとする。（ワークシート、評価カード） ・生物育成の基礎的な知識を理解し、主体的な態度で学習に取り組もうとする。（ワークシート、テスト）
	12					
3	1	7	D「情報の技術」 1 情報の技術の原理・法則と仕組み （1）情報の技術とは何だろう （2）情報のデジタル化 （3）情報通信ネットワークの仕組み （4）安全に使用するための情報モラル （5）安全に使用するための情報セキュリティ （6）情報の技術の工夫を読み取ろう ＜簡単なプログラミング体験＞	・生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能・情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。 ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解できる。 ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解できる。 ・情報通信ネットワークの構成について理解できる。 ・情報通信ネットワーク上での用法を利用する仕組みについて理解できる。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる知識を身に付けている。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解できる。（ワークシート、レポート、プログラミング実習、テスト）	・生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定して解決することができる。 ・情報の技術の問題を見いだして、その課題を設定して調べることができる。（ワークシート、レポート、テスト） ・製作を通して、自らの課題を見いだすことができる。 ・情報の技術の課題を見だし、その課題を解決することができる。（ワークシート、プログラミング実習）	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする。 ・主体的に情報の技術について考えようとしている。（ワークシート、レポート、評価カード） ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。（ワークシート、プログラミング実習、テスト）
	2					
	3					
	35					